

# 「交通工学研究発表会」投稿論文の原稿書式見本

東都大学大学院 学生会員 ○坂本竜馬

\*西京大学工学部 正会員 勝 海舟

(株)アトランティックコンサルタンツ 正会員 明智光秀

JL 南日本(株) 前田利家

## 1. はじめに

本稿は「交通工学研究発表会論文集」への投稿論文の作成にあたって留意すべき点をまとめたものである。論文集のCD-ROM移行(2009年度・第29回～)と、Web審査システムの導入(2010年度・第30回～)に伴い、書式と原稿提出方法が変更されているため、「募集要項」と本書式見本を熟読の上、作業を進められたい。

本書式見本はMicrosoft Wordのdoc形式のファイル\*<sup>1</sup>とPDF形式のファイルとして提供されている。Wordファイルのほう自体を修正して原稿を執筆して頂いても結構である。その他の環境で作成される場合は、以下に示す書式に則って作成して頂きたい。

## 2. 研究発表への応募

応募にあたっては募集要項をよく読み、その規定に従うこと。特に次の点にはご注意ください。

### 2.1 応募規定

交通工学研究発表会における発表は、これまでに審査付き論文等として発表したことのないものに限る。他の審査付き論文等との二重投稿もできない。発表者となれるのは1人1編までとする。

発表者は当会会員(正会員または学生会員)に限る。投稿には会員番号が必要であるため、これを機に新たに入会する場合は、発表申込以前に手続きを行うこと。連名者は原則として発表者を含む4名までとする。

審査を通過した場合、投稿論文において発表者となっている者が研究発表会で発表することを前提とする。

### 2.2 審査料

審査料は1編につき10,000円である。発表申込前に、郵便振替により所定の口座まで送金されたい。

## 3. 原稿の書式

原稿は日本語または英語に限る。日本語原稿は以下の書式に従って作成のこと。

用紙サイズ: A4判とする。

余白・字数: 各ページ上下各19mm、左右各20mmのマージンをとる。字数は25文字×2段×

Keywords: 交通安全, 交通管理, 道路計画

\* 連絡先: k\_kaishu@saikyo-u.ac.jp  
(Phone) 0987-65-4321 ext.1234

48行とし、段の間隔は2文字とする。原稿は4ページ以内とする。

表題: 1ページ目の第1行に中央寄せして記載する。フォントはゴシック体・12ポイントを標準とする。

著者: 表題の下を1行空けた次の行から、右寄せで、1人1行として、所属、会員種別、氏名の順で記載する。発表者には氏名の前に○印、本原稿に対する連絡を受け付ける者には所属の前に\*印を付ける。

本文: 氏名の最終行から1行空けて本文を開始する。フォントは明朝体・10ポイントを標準とする。

キーワード: 発表申込時にWeb上の「申込内容の入力」画面で入力するものと同じキーワード(最大5つ)を、1ページ目最下部に、本文との仕切り線を入れて記載する。

連絡先: 1ページ目最下部のキーワードの下に、著者のうち\*印を付けた者のe-mailアドレス、電話番号などを記載する。

図表: カラーの図表を含めてよい。図表の配置や番号附番方法などについては特に規定を定めないが、例えば図1、表1のように掲載する。



図1 図の掲載方法(例)

表1 表の掲載方法(例)


補注：補注は、本文中に例えば<sup>2</sup>のように書き、論文の最後にまとめて記す（本書式見本の最後の例を参照）。

参考文献：参考文献は、本文中に例えば<sup>1</sup>のように書いて引用するとともに、論文の最後に著者名、引用文献名、掲載誌名、ページ、発表年などをまとめる（本書式見本の最後の例を参照）。

上記の書式規定を逸脱しなければ、これ以外の部分の書式は各著者の判断に任される。書式規定に従わない原稿および判読困難な原稿は審査の対象とならないので、十分留意のこと。

#### 4. PDF ファイル作成上の留意点

著者は(A)論文集 CD-ROM 用原稿と(B)審査用原稿の2種類の PDF ファイルを作成し、投稿する。

(A)は審査通過後に論文集 CD-ROM に収録される完全版の原稿で、著者名等の記載を含む。(B)は(A)の全著者の所属・氏名および連絡先の記載（本書式見本の黄色部分）を削除し空欄にしたもので、これらの記載の有無を除いて(A)と同一の内容でなければならない。

PDF ファイルは Adobe Acrobat など PDF 作成機能を持つソフトウェアで作成する。その際、次の事項に留意されたい。

- PDF のバージョンは 1.3 (Adobe Acrobat 4.x 相当) 以上とする。
- ファイルの大きさは 5MB 以内とする。
- 論文中で使用するフォントは全てファイルに埋め込むこと<sup>3</sup>。そうしないと、異なる環境でファイルを開いた場合に文字化けや文字落ちなどが生じる場合がある。
- 画像の解像度は、参考値として 300dpi 程度を推奨する。最終的なファイルの大きさと判読可能性を勘案し、適切な値を選ばれたい。
- 論文集 CD-ROM に収録の際、論文誌名、論文番号、ページ番号などが挿入される。そのため、ファイルにセキュリティやパスワードを設定しないこと。「印刷」、「テキストとグラフィックの選択」、「文章の変更」、「注釈とフォームフィールドの追加と変更」などは許可すること。
- PDF 文書のプロパティ（メタデータ）として作成者の名前や所属機関名、タイトル、キーワードなどを埋め込まないこと。Adobe Acrobat の場合は、「ファイル」メニューの「プロパティ...」を選び、「文書のプロパティ」画面の「概要」タブで、これらの情報が埋め込まれていないことを確認されたい。
- しおり、サムネールなどは設定しない。

• PDF ファイル内から外部の Web サイト、メールアドレスなどへのリンクは設定しない。これらのリンクは自動的に設定される場合があるが、忘れずに解除しておくこと。なお、同一論文ファイル内でリンク（本文から補注へ、など）を設定することは差し支えない。

• PDF ファイル名は、受付時点で適宜リネームされるが、アップロード時のファイルエラー等を考慮し、できるだけ半角英数字のみとすること。

ソフトウェアの操作・設定方法については、各ソフトウェアのヘルプやマニュアルなどを参照のこと。

#### 5. 発表申込・論文投稿の流れ

##### 5.1 入会手続き

発表者が当会の会員でない場合は、まず入会手続きを行う。

##### 5.2 審査料の納付

発表申込に先立ち、所定の金額の審査料を、募集要項に記載の口座に郵便振替で送金する。払込用紙の通信欄には「研究発表会審査料」と書き、併せて発表者名（申込者名は不可）を必ず記入のこと。

##### 5.3 Web サイト上での申込・投稿

研究発表会申込受付の Web サイト上で、次の手順に従い、申込内容を入力・送信する。

- (1) 「申込内容の入力」画面で、入力フォームに所定の事項を入力する。また、アップロードする(A)・(B)両方の PDF ファイルを選択する。その後、「申込内容の確認画面へ」ボタンを押す。
- (2) 「申込内容の確認」画面が表示されるので、内容を確認する。また、下部の「投稿済 PDF ファイル」をクリックして、アップロードされたファイルを開き、ファイルが正しく送信されていることを確認する。問題があれば「戻る」ボタンを押して(1)に戻る。
- (3) 入力した申込内容とアップロードした PDF ファイルに問題がないことを確認したら、「申込を完了する」ボタンを押す。
- (4) 「受付完了」画面で、受付番号とパスワードが表示される。後の確認時に必要であるので、忘れないよう控えておく。追って受付完了の電子メールが自動送信されるが、これが届かない場合は受付が正常に完了していないので、申込を再度確認されたい。

##### 5.4 必要書類の郵送は廃止

第 29 回（2009 年度）までは諸書類を当会へ郵送することが必要であったが、第 30 回（2010 年度）より廃止され、不要となった。

#### 6. おわりに

発表申込・論文投稿や当会への入会手続きは、当会ホ

ホームページ (<http://www.jste.or.jp/>) の「オンラインサービス」からリンクを辿って行うことができる。

**【交通工学研究発表会に関する問合せ先】**

社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23

錦町 MK ビル 5 階

TEL: 050-5507-7153 または 03-6410-8717

FAX: 03-6410-8718 e-mail: [jigyoi@jste.or.jp](mailto:jigyoi@jste.or.jp)

(担当 : 金子)

**補注**

- \*1 本ファイルは Windows 版 Word 2003、Word 2007 および Mac 版 Word 2008 で正常に開ける (見える) ことを確認している。
- \*2 補注が不要であれば、この部分はまるごと削除して頂いて結構である。
- \*3 Windows 版 Adobe Distiller 4 および 5 で MS 明朝・MS ゴシックを埋め込めない問題があるとの報告がある。詳細は次の Web ページを確認されたい。  
<http://support.adobe.co.jp/faq/faq/qadoc.sv?214492+002>  
<http://support.adobe.co.jp/faq/faq/qadoc.sv?222071+002>

**参考文献**

- 1) 紫式部：源氏物語，平安出版，pp.12-34，1987.
- 2) 交通事故分析センター (ITARDA)：イタルダ・インフォメーション，No.17，[http://www.itarda.or.jp/info13/info13\\_1.html](http://www.itarda.or.jp/info13/info13_1.html) (アクセス：2008年12月14日)。
- 3) 大塩平八郎，ジョン万次郎：自発光中央線鋸がクジラの睡眠に及ぼす影響，科学特捜隊研究論文集交通編，Vol.32，No.1，pp.23-40，1998.
- 4) 織田，豊臣，徳川，明治，大正ほか：わが国における道路交通の変遷，仮想交通研究，No.123/IV-45，pp.56-67，2001.
- 5) 交通工学研究会：改訂 平面交差の計画と設計—基礎編，丸善，pp.34-45，2002.

(改訂：2009年12月10日)